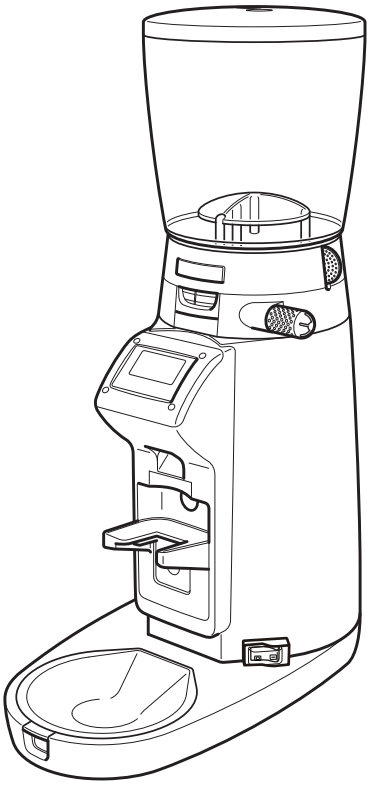
FOOD MACHINES INTERNATIONAL

マグナム オンデマンドミル【ラ・チンバリー】

MOD-2（業務用）

LA CIMBALI

取扱説明書



このたびは、当社のマグナム オンデマンドミル(MOD-2)をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ安全にお使いください。

お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

保証書は、この取扱説明書の最終ページに記載されております。
必ず「お買い上げ日･お買上げ店名」等の記入をお確かめください。

保証書付

据付説明付

目　次

安全上のご注意 …… 1～6

各部の名称 …… 7・8
- 本体 …… 7
- タッチパネル …… 8

操作手順 …… 9～26
- 使用前の準備 …… 9～11
- コーヒー豆の挽きかた（マニュアルモード）…… 11・12
- 必要な量の豆を挽く場合（マニュアルモード）…… 13
- コーヒー豆の挽きかた（プリセットモード）…… 14・15
- 必要な量の豆を挽く場合（プリセットモード）…… 15・16
- メッシュ（挽きの粗さ）調節について …… 17・18
- ユーザーメニュー …… 19
- 豆挽き時間の変更方法（ユーザーメニュー）…… 20
- カウンターの表示方法（ユーザーメニュー）…… 21
- マニュアルモードとプリセットモードの切替え方法（ユーザーメニュー）… 22
- カスタマーメニューとテクニカルメニュー …… 23
- 豆挽き時間の変更方法（カスタマーメニューおよびテクニカルメニュー）… 24
- マニュアルモードとプリセットモードの切替え方法（テクニカルメニュー）… 25
- ミルカッターの交換時期確認方法（テクニカルメニュー）…… 26
- ミルカッターの交換時期変更方法（テクニカルメニュー）…… 27

お手入れについて …… 28

故障の診断と手当 …… 29・30

据付けについて …… 31

仕様 …… 32

商品保証書 …… 33

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください

表示と意味は次のようになっています

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

＊物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
接触禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

⚠ 警 告

専門業者

据付工事は、お買上げ店または専門業者に依頼すること

ご自分で据付けをされ不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。

アース工事

アースを必ずとること
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
（電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。）

専用電源

本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

電気工事

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になります。

屋外禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、感電の原因になります。

湿気禁止

湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。

水掛け禁止

本体に直接水をかけないこと

ショート、感電、漏電、錆、故障の原因になります。

禁止

電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

⚠ 警 告

点検清掃

電源プラグを使用している場合は、刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタのないように確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。

連絡

漏電遮断器または、サーキットブレーカーが『OFF(切)』に作動した場合には、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON(入)』にすると、感電や火災の原因になります。

接触禁止

機械内部の電気装置や配線にさわらないこと

感電する恐れがあります。

濡手禁止

濡れた手で電源プラグ（電源プラグを使用の場合）などの電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。

専用電源

異常時は電源スイッチを切って機械を止め、電源プラグを抜くか（電源プラグを使用の場合）、本機専用電源を『OFF(切)』にしてすぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると感電、火災の原因になります。

ガス栓閉

お使いのガス器具がある場合、ガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、窓をあけて換気すること

本機の電源スイッチを入れたり、電源プラグを抜いたりすると、引火爆発し危険です。

挿入禁止

ミルカッターの回転中は、ホッパーの中からカッター内部に指、箸、スプーンなどを入れないこと

ケガおよび故障の原因になります。

専用電源

ホッパーの中に手を入れるときは、電源スイッチを切って機械を止め、本機専用電源を『OFF（切)』にすること

誤って電源スイッチに触れた場合、ケガをする恐れがあります。

⚠ 警 告

分解禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理はおこなわないこと

異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。

改造禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、感電、火災の原因になります。

専門業者

移設は専門業者か、お買上げ店に連絡すること

据え付け不備があると感電、火災の原因になります。

専門業者

廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

放置しますと、幼児などがケガをする原因になります。

⚠ 注 意

水平据付

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になります。

禁止

本機の上に重量物や、水を入れた容器を置かないこと

落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。

禁止

電源プラグを使用している場合、プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になります。

熱器具禁止

熱器具を乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。

可燃物禁止

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないこと

発火の原因になります。

開放禁止

常時、ホッパー蓋は閉めておくこと

開けたままにしますと、不純物（虫、ホコリなど）が混入することがあります。

専用電源

お手入れのときや点検のときは、必ず電源スイッチを切って機械を止め、本機専用電源を『OFF（切）』にすること

感電したり、ケガの原因になります。

拭き取る

洗剤を使ったあとは、洗剤成分を十分拭き取ること

洗剤成分が残っていると、健康障害の原因になります。

⚠ 注 意

専用電源

休日前には、安全のため本機の電源スイッチを切って、電源プラグを抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。

動作点検

漏電遮断器は月に１回動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。

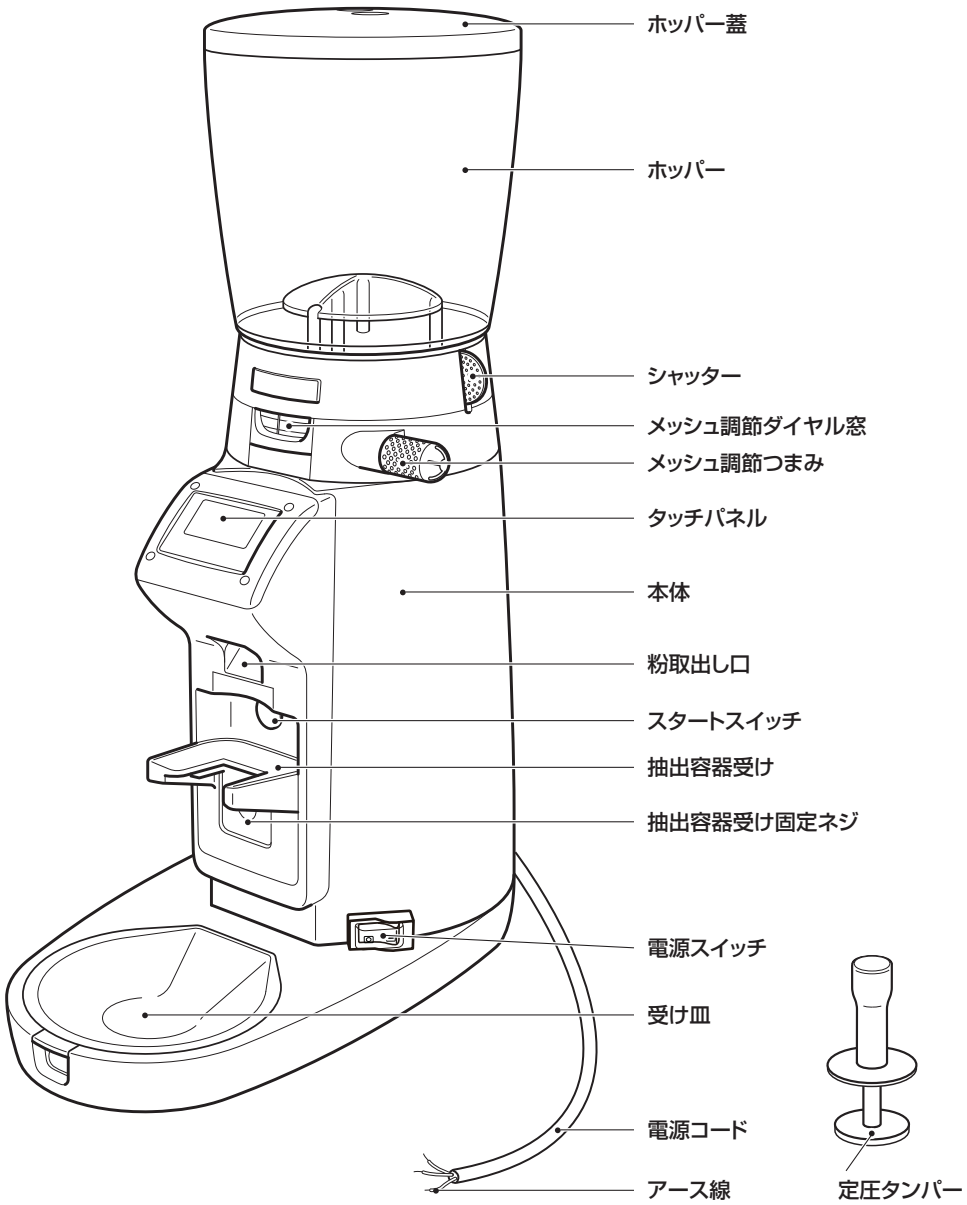
テープ止め

このお使いになっている商品を転売したり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること

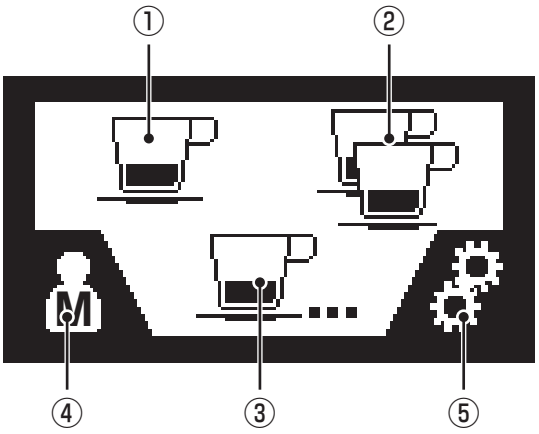
各部の名称

本機は、エスプレッソ用にコーヒー豆を挽く機械です

本体



タッチパネル



① 1杯用豆挽きスイッチ

1杯分のコーヒー豆を挽きます。
マニュアルモードになっている場合は、エスプレッソ抽出容器を本体にセットして、このスイッチを押して豆を挽いてください。
プリセットモードになっている場合は、エスプレッソ抽出容器を本体にセットすると1杯分の豆を挽きます。
途中で豆挽きを中止したい場合は、タッチパネルを押してください。

② 2杯用豆挽きスイッチ

2杯分のコーヒー豆を挽きます。
マニュアルモードになっている場合は、エスプレッソ抽出容器を本体にセットして、このスイッチを押して豆を挽いてください。
プリセットモードになっている場合は、エスプレッソ抽出容器を本体にセットすると2杯分の豆を挽きます。
途中で豆挽きを中止したい場合は、タッチパネルを押してください。

③ 連続豆挽きスイッチ

マニュアルモードになっている場合は、エスプレッソ抽出容器を本体にセットして、このスイッチを押している間、豆を挽きます。
プリセットモードになっている場合は、エスプレッソ抽出容器を本体にセットしている間、豆を挽きます。

④ ユーザーメニュースイッチ

「M」と表示されているときは、マニュアルモードになっています。
「P」と表示されているときは、プリセットモードになっています。
ユーザーメニュースイッチを押すと、ユーザー用の設定モードに入ります。

⑤ カスタマーメニュースイッチ、兼テクニカルメニュースイッチ

パスワードの画面で、
「1111」を入力すると、カスタマーメニューに切り替わります。
「2222」を入力すると、テクニカルメニューに切り替わります。

操作手順

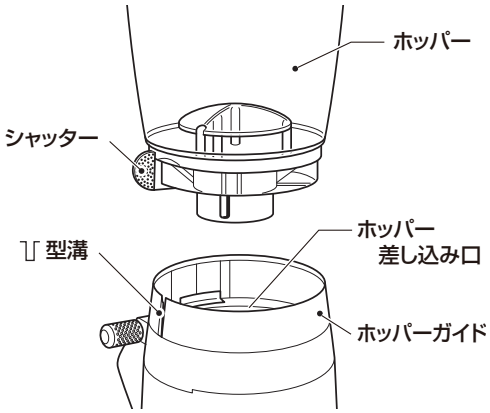
使用前の準備

1．ご使用になる前に、ホッパーを清掃してください

→ 「**お手入れについて**」（28 ページ）参照。

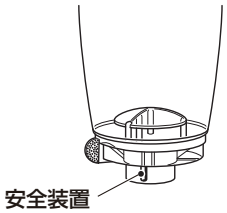
2．ホッパーと受け皿を本体にセットしてください

ホッパーをセットした後は、ホッパー装着ネジを締め付けて固定してください。



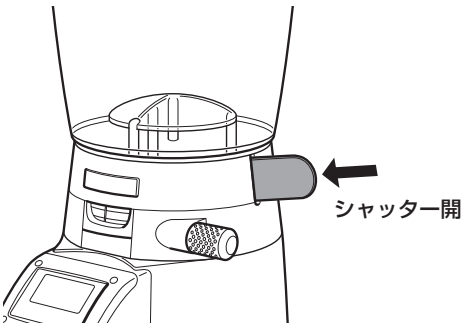
お願い

ホッパー下部にある細長い突起は、安全装置になっています。この突起が本体の安全装置差し込み口にきちんとセットされていないと、電源が入りません。
また、ホッパーを取り扱う際は、この安全装置を破損しないように注意してください。



3．ホッパーのシャッターを開いてください

シャッターを、機械の押し込んで、開けてください。

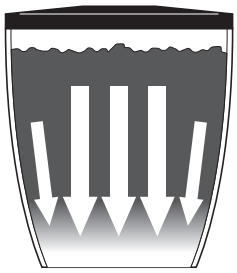


4．ホッパー内にコーヒー豆を入れてください

ホッパー蓋を取り外し、コーヒー豆（最高 1.5kg まで）を入れてホッパー蓋をセットしください。

メモ

ホッパーの豆量が少なくなると（約３分目以下）、ミルカッターにかかる重量が軽くなり、コーヒー粉の状態にバラつきが出る可能性があります。
安定したメッシュを得るため、ホッパー内にはコーヒー豆を３分目以上入れておいてください。



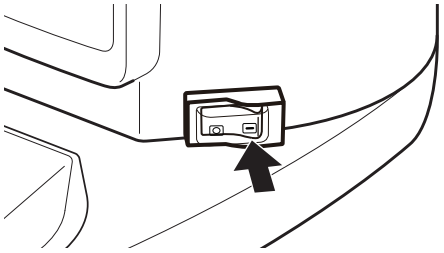
※豆が少なすぎるとメッシュは
粗くなる。→抽出時間が速くなる。

お願い

ホッパー内にコーヒー豆以外の異物や金属物が入らないようにしてください。
機械の故障、カッター破損の原因になります。
万一、カッターに異物がかみ込んだ場合、モーターがロックすることがあります。
その場合は、本機専用電源を「OFF（切）」にして、ホッパー内のコーヒー豆を取り出して異物を除去してください。

5．本気専用電源を「ON（入）」にして、電源スイッチを入れてください

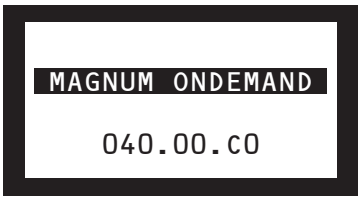
本体右下にある電源スイッチを「－」の方向に倒し、
電源を入れてください。



メモ

ホッパーが正しくセットされ、本機専用電源が「ON（入）」になっていないと、電源は入りません。

イルミネーション（青色）が点灯し、タッチパネルには、型式名とソフトウェアのバージョンが表示された後、操作画面が表示されます。



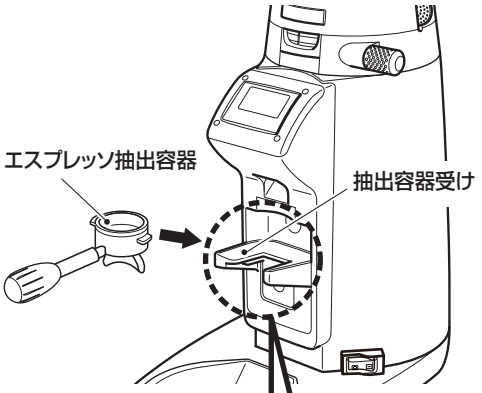
マニュアルモードの画面

プリセットモードの画面

コーヒー豆の挽きかた（マニュアルモード）

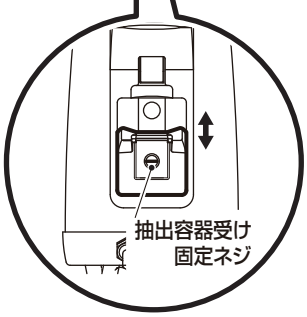
1．エスプレッソ抽出容器を本体の抽出容器受けにセットしてください

本体の抽出容器受けに、エスプレッソ抽出容器（エスプレッソコーヒーマシンの付属品）を載せてください。



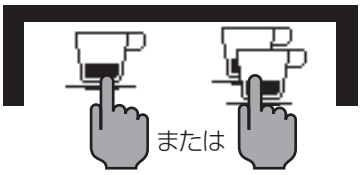
メモ

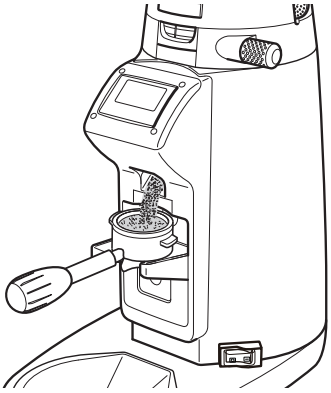
エスプレッソ抽出容器の高さが合わないときは、抽出容器受けの高さを調整してください。
マイナスドライバーで固定ネジをゆるめ、高さを調整した後、取付ネジを締めてください。
※固定ネジは、強く締め付けないでください。



2. コーヒー豆を挽いてください

操作パネルの１杯用または２杯用の豆挽きスイッチを押すと（スイッチから指を離した時点で、豆を挽き始めます）、設定された時間コーヒー豆を挽き自動で停止します。



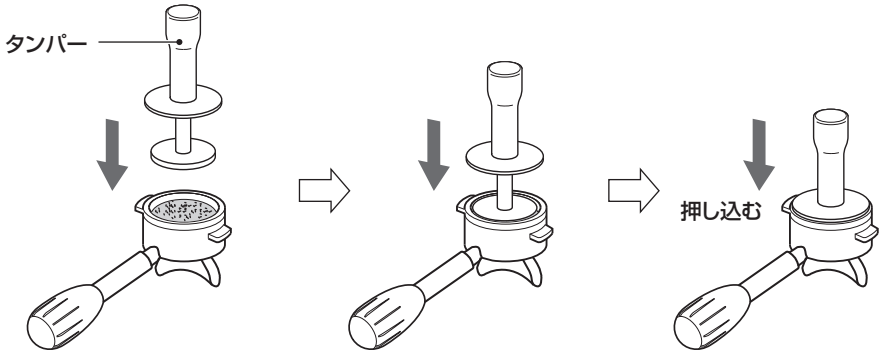


途中で中止したい場合はもう一度、タッチパネルを押してください。

3. コーヒー粉が入ったエスプレッソ抽出容器を取り外してください

4. タンパーを使ってコーヒー粉を平らにしてください

タンパーをエスプレッソ抽出容器の真上から押し当て、最後まで押し込み、コーヒー粉を平らにしください。

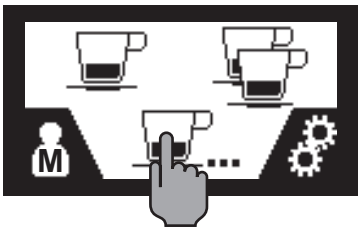


エスプレッソ抽出容器をエスプレッソコーヒーマシンにセットし抽出してください。
エスプレッソ抽出容器のセットのしかたと、抽出のしかたについては、エスプレッソコーヒーマシンの取扱説明書をお読みください。

必要な量の豆を挽く場合（マニュアルモード）

1．連続豆挽きスイッチを必要な量の豆を挽くまで押し続けてください
　豆挽きスイッチを押すと同時に豆を挽き始めます。

2．必要な量の豆が挽けたら、豆挽きスイッチから指を離してください



メモ

「コナリョウ 3」の設定値が 00.00 の場合
　連続豆挽きスイッチを押している間、豆を挽きます。

「コナリョウ 3」の設定値が 00.00 以外の場合
　連続豆挽きスイッチを押すと設定時間、豆を挽きます。

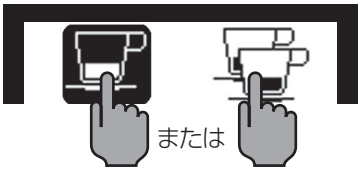
工場出荷時、「コナリョウ 3」の設定値は、00.00 になっています。
任意の量を設定する場合は、20 ページを参照して値を変更してください。

連続豆挽き時のカウントは、1 杯用と 2 杯用の粉量設定値をもとに自動的に計算されます。

コーヒー豆の挽きかた（プリセットモード）

プリセットモードに設定しておきますと、エスプレッソ抽出容器を本体にセットすると同時に、設定された量の豆を挽きます。

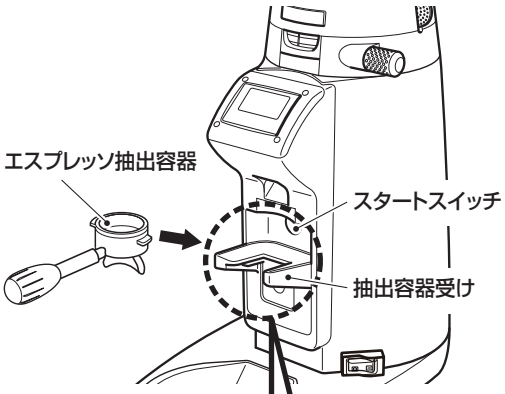
1．お好みにあわせて１杯用または２杯用の豆挽きスイッチを押してください



2．エスプレッソ抽出容器を本体の抽出容器受けにセットしてください

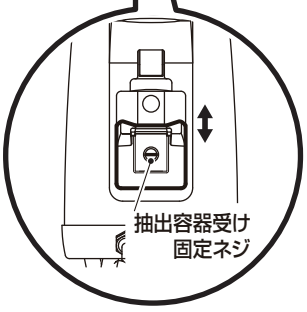
エスプレッソ抽出容器（エスプレッソコーヒーマシンの付属品）をセットして､スタートスイッチに当たると豆を挽き始めます。

１杯用または２杯用の設定された時間コーヒー豆を挽き自動で停止します。



メモ

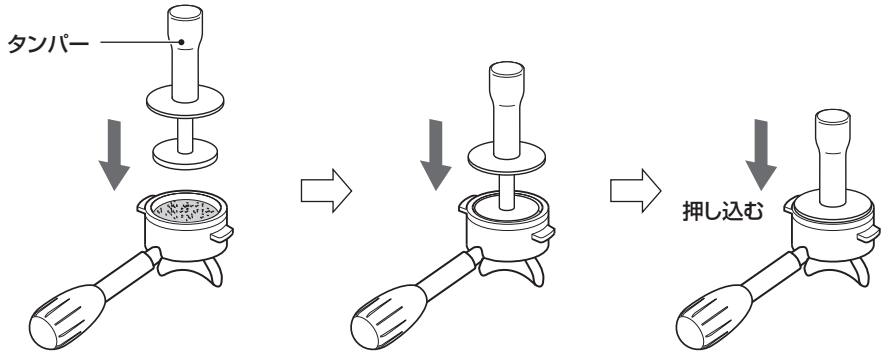
エスプレッソ抽出容器の高さが合わないときは、抽出容器受けの高さを調整してください。
マイナスドライバーで固定ネジをゆるめ、高さを調整した後、取付ネジを締めてください。
※固定ネジは、強く締め付けないでください。



3．コーヒー粉が入ったエスプレッソ抽出容器を取り外してください

4．タンパーを使ってコーヒー粉を平らにしてください

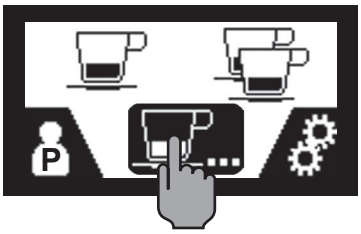
タンパーをエスプレッソ抽出容器の真上から押し当て、最後まで押し込み、コーヒー粉を平らにしください。



エスプレッソ抽出容器をエスプレッソコーヒーマシンにセットし抽出してください。
エスプレッソ抽出容器のセットのしかたと、抽出のしかたについては、エスプレッソコーヒーマシンの取扱説明書をお読みください。

必要な量の豆を挽く場合（プリセットモード）

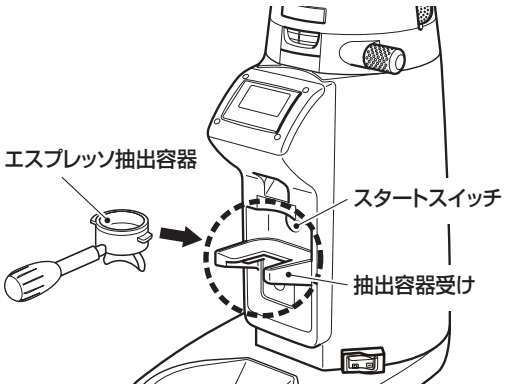
1．連続豆挽きスイッチ押してください



2．エスプレッソ抽出容器を本体の抽出容器受けにセットしてください

エスプレッソ抽出容器が、スタートスイッチを押すと同時に豆を挽き始めます。

必要な量を挽くまでエスプレッソ抽出容器を載せておいてください。



3．必要な量の豆が挽けたら、コーヒー抽出容器を取り外してください

メモ

「コナリョウ 3」の設定値が 00.00 の場合
　連続豆挽きスイッチを押している間、豆を挽きます。

「コナリョウ 3」の設定値が 00.00 以外の場合
　連続豆挽きスイッチを押すと設定時間、豆を挽きます。

工場出荷時、「コナリョウ 3」の設定値は、00.00 になっています。
任意の量を設定する場合は、20 ページを参照して値を変更してください。

1 杯用を標準にしている場合
　2 杯用または連続を選択すると、豆挽きが終わったときにタッチパネルのカーソルは、1 杯用に戻ります。

2 杯用を標準にしている場合
　1 杯用または連続を選択すると、豆挽きが終わったときに画面のカーソルは、2 杯用に戻ります。

連続を標準にしている場合
　1 杯用または 2 杯用を選択すると、豆挽きが終わったときに画面のカーソルは、連続に戻ります。

本機は、豆挽き後、2 秒以上間隔をあけないと、次の豆挽きをおこないません。

連続豆挽き時のカウントは、1 杯用と 2 杯用の粉量設定値をもとに自動的に計算されます。

メッシュ（挽きの粗さ）調節について

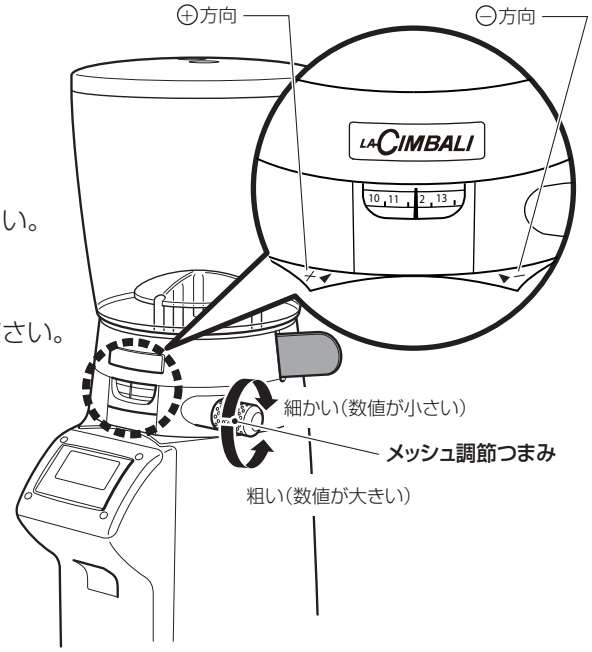
コーヒー粉のメッシュは、実際にエスプレッソコーヒーマシンでエスプレッソを抽出して、抽出の状態を確認し、お客様の好みのメッシュになるよう調節してください。

メッシュ調節つまみを回してください

メッシュ調節つまみを回すときは、ゆっくり１目盛りずつ回し、その都度実際に豆を挽いて粗さを確認してください。

抽出時間が短く泡立ちが悪い場合
→ メッシュを細かくする
時計方向（⊖方向）に回してください。

抽出時間が長すぎる場合
→ メッシュを粗くする
反時計方向（⊕方向）に回してください。



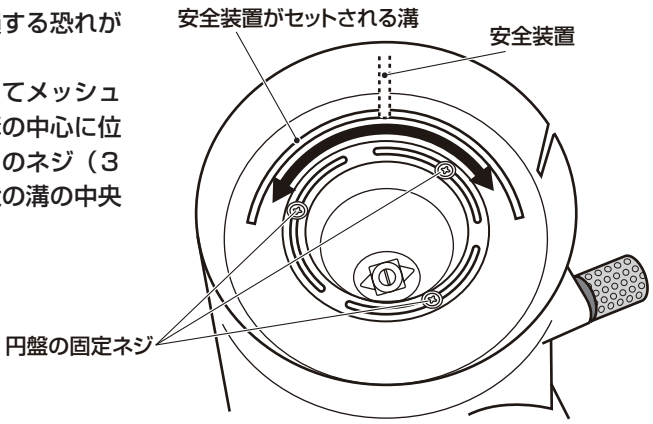
お願い

メッシュ調節つまみを回しすぎないでください。

メッシュ調節つまみを回すと、ホッパー下の本体に取り付けられている円盤が左右に回転します。このとき、円盤外周の溝にはホッパーの安全装置がセットされています。

円盤を過度に回転させると、半円状の溝の端に安全装置があたり、安全装置が破損する恐れがあります。

またミルカッターの摩耗にともなってメッシュ調節をくり返すうち、安全装置が溝の中心に位置しなくなります。その場合は右図のネジ（３箇所）をゆるめ、安全装置が半円状の溝の中央にくるように調整してください。



お願い

カッターが擦れ合うまでメッシュ調節つまみを時計方向に回して、メッシュを細かくしないでください。ミルカッターの目詰まりや、モーターの故障の原因になります。

新品のコーヒーミルは、使い始めしばらくはミルカッターの刃が馴染んでいないため、摩耗が速く進みます。そのためメッシュが粗くなりますので定期的に調節をおこなう必要があります。
本機も、使い始めから 50kg ～ 80kg 程度（コーヒー豆の種類によって異なる）のコーヒー豆を挽くまではミルカッターの摩耗が速く導入時に比べてメッシュが粗くなっていきます。
ミルカッターの刃が馴染んできますと、ミルカッターの摩耗速度が遅くなり、メッシュが安定してきます。ただし、美味しいエスプレッソを提供していただくために、定期的にエスプレッソの抽出状態を確認し、メッシュの微調整をおこなってください。

ホッパー内のコーヒー豆量が少なくなるとメッシュが粗くなりますので、10 ページをご参照いただき、ホッパー内の豆量を常に3分目以上に保ってご使用ください。

コーヒー豆が全く挽けない場合は、メッシュ調節つまみを反時計方向（粗くする）に約 10 目盛くらい回して、一度粗挽きにしてから徐々に元のメッシュに戻してください。

季節（湿度）によっては、コーヒーの抽出時間が変わることがあります。
コーヒーマシンでコーヒーを抽出して、コーヒーの抽出時間が変わっているときは、メッシュの調節をおこなってください。

メッシュ調節をおこなっても細かくならなくなった場合は、ミルカッターの寿命ですので、交換が必要となります。お買上げ店にご連絡ください。

ユーザーメニュー

ユーザーメニューで設定を変更できる項目です。

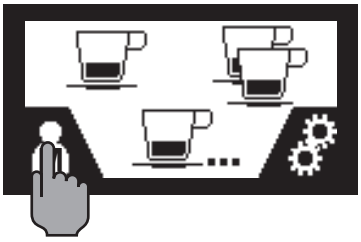
項目	内容	設定 / 選択値
ｺﾅﾘｮｳ ｾｯﾃｲ	豆挽き時間設定	
ｺﾅﾘｮｳ 1	1 杯豆挽き用	ｶｽﾀﾏｰﾒﾆｭｰまたはﾃｸﾆｶﾙﾒﾆｭｰで設定されている値に対して± 0.25 秒の範囲で変更できます。(0.01 秒刻み)
ｺﾅﾘｮｳ 2	2 杯豆挽き用	ｶｽﾀﾏｰﾒﾆｭｰまたはﾃｸﾆｶﾙﾒﾆｭｰで設定されている値に対して± 0.5 秒の範囲で変更できます。(0.01 秒刻み)
ｺﾅﾘｮｳ 3	連続豆挽き用	ｶｽﾀﾏｰﾒﾆｭｰまたはﾃｸﾆｶﾙﾒﾆｭｰで設定されている値に対して± 0.25 秒の範囲で変更できます。(0.01 秒刻み) ただし、設定されている値が 00.00 秒の場合は変更できません。
ｶｳﾝﾀｰ	杯数（豆挽き回数）表示	
ﾄﾘﾀﾞｼ ﾊｲｽｳ	前回、カウンターをリセットしてからの杯数 (豆挽き回数)	リセット可 (リセットは、「RESET」スイッチを 3 秒間長押し)
ﾄﾘﾀﾞｼ ﾎｳﾎｳ	豆挽き方法の選択	ﾏﾆｭｱﾙまたはﾌﾟﾘｾｯﾄ

カスタマーメニューおよびテクニカルメニューについては、23 ページを参照してください。

豆挽き時間の変更方法（ユーザーメニュー）

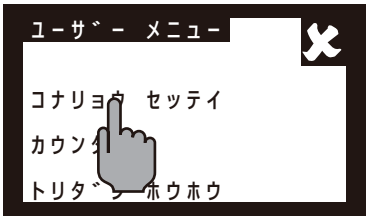
ここでは、豆挽き時間（量）の設定方法について説明しています。

1. ユーザーメニュースイッチを押してください



2. 「ｺﾅﾘｮｳ ｾｯﾃｲ」を選択してください

   操作をやめる場合は、「✘」スイッチを押してください。



3. いずれかの豆挽きスイッチを選択してください

   ｺﾅﾘｮｳ 1 → 1杯用豆挽きスイッチ
   ｺﾅﾘｮｳ 2 → 2杯用豆挽きスイッチ
   ｺﾅﾘｮｳ 3 → 連続豆挽きスイッチ

   操作をやめる場合は、「✘」スイッチを押してください。

4. 「+」または「−」スイッチで、値を変えてください

   カスタマーメニューまたはテクニカルメニューで設定された値に対して± 0.25 秒の範囲で変更できます。
   変更は 0.01 秒刻みです。

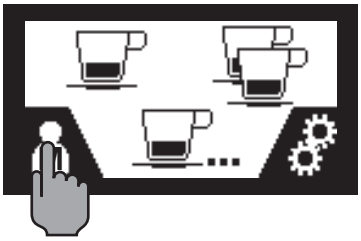
   操作をやめる場合は、「✘」スイッチを押してください。

5. 値が決まりましたら、「✓」を押して確定してください
6. 元の操作画面にもどるまで、「✘」を繰り返し押してください

カウンターの表示方法（ユーザーメニュー）

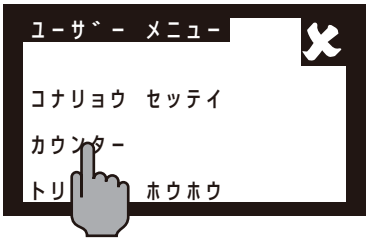
ここでは、ミルカッターの交換をお知らせするメッセージの表示時期（豆挽き回数）を設定する方法について説明しています。

1．ユーザーメニュースイッチを押してください



2. 「ｶｳﾝﾀｰ」を選択してください

操作をやめる場合は、「✘」スイッチを押してください。



前回リセットしてからの杯数が表示されます。

元の画面にもどるには、「✘」スイッチを押してください。

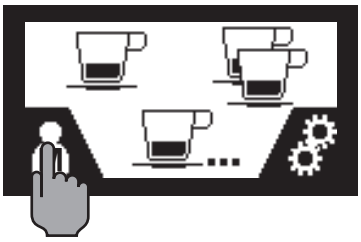
値をリセットする場合は、「RESET」スイッチを３秒間長押ししてください。

3. 元の操作画面にもどるまで、「✘」を繰り返し押してください

マニュアルモードとプリセットモードの切替え方法（ユーザーメニュー）

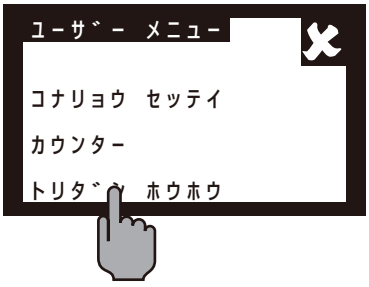
ここでは、エスプレッソ抽出容器を本体にセットしてから豆挽きスイッチを押して豆を挽くマニュアルモードと、エスプレッソ抽出容器を本体にセットすると設定された量のコーヒー豆を自動で挽くプリセットモードの切替え方法について説明しています。

1. ユーザーメニュースイッチを押してください



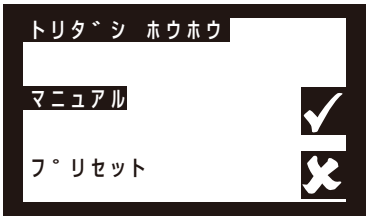
2. 「ﾄﾘﾀﾞｼ ﾎｳﾎｳ」を選択してください

   操作をやめる場合は、「✘」スイッチを押してください。



3. 「ﾏﾆｭｱﾙ」または「ﾌﾟﾘｾｯﾄ」を選択してください

   操作をやめる場合は、「✘」スイッチを押してください。



4. 「✓」を押して確定してください

5. 元の操作画面にもどるまで、「✘」を繰り返し押してください

カスタマーメニューとテクニカルメニュー

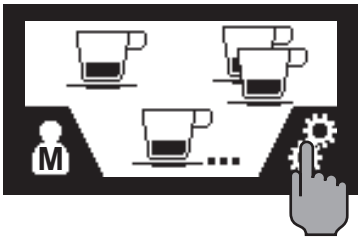
カスタマーメニューとテクニカルメニューで設定を変更できる項目です。

項目	内容	設定 / 選択値
ｺﾅﾘｮｳ ｾｯﾃｲ	豆挽き時間設定	
ｺﾅﾘｮｳ 1	1 杯豆挽き用	01.00 ～ 08.00 秒（0.05 秒刻み）
ｺﾅﾘｮｳ 2	2 杯豆挽き用	02.00 ～ 08.00 秒（0.05 秒刻み）
ｺﾅﾘｮｳ 3	連続豆挽き用	00.00 ～ 20.00 秒（0.05 秒刻み）
ｶｳﾝﾀｰ	杯数（豆挽き回数）表示	
ｺﾞｳｹｲ ﾊｲｽｳ	合計杯数（豆挽き回数）	リセット不可
ﾄﾘﾀﾞｼ ﾊｲｽｳ	前回、カウンターをリセットしてからの杯数（豆挽き回数）	リセット可 （リセットは、「RESET」スイッチを 3 秒間長押し）
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾅｲﾖｳ		
ﾄﾘﾀﾞｼ ﾎｳﾎｳ	豆挽き方法の選択	ﾏﾆｭｱﾙまたはﾌﾟﾘｾｯﾄ
ｹﾞﾝｺﾞ ｾﾝﾀｸ	表示言語の選択	他の言語を選択すると、ディスプレイに表示される言語が変更されます。 ITALIANO（イタリア語） ENGLISH（英語） DEUTSCH（ドイツ語） FRANCAIS（フランス語） ESPANOL（スペイン語） PORTUGUES（ポルトガル語） ﾆﾎﾝｺﾞ（日本語）
ﾐﾙ ﾀｲﾌﾟ	ミルカッター種類を選択	設定を変更しないでください。（工場出荷時は、ﾌﾗｯﾄ）
ｽｸﾘｰﾝｾｰﾊﾞｰ	未操作時間５分経過で機能させるか選択	ON または OFF
ｺｰﾋｰﾐﾙNo.	エスプレッソマシンと通信する場合に設定	未対応です。 設定を変更しないでください。
ﾕｰｻﾞｰ ﾒﾆｭｰ	ユーザーメニュー使用可否の選択	ON または OFF
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ		
ﾐﾙｶｯﾀｰ ｺｳｶﾝ	ミルカッター交換のお知らせ表示	
ﾉｺﾘ ﾊｲｽｳ	ミルカッター交換までの残り杯数（豆挽き回数）表示	ﾘｾｯﾄ可
ｾｯﾃｲ ﾊｲｽｳ	ミルカッター交換表示までの設定杯数（豆挽き回数）	設定範囲 5000 ～ 100000（1000 刻み）
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ﾍﾝｺｳ	ｶｽﾀﾏｰﾒﾆｭｰまたはﾃｸﾆｶﾙﾒﾆｭｰへ入るときのﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ変更	4 桁の数字

豆挽き時間の変更方法（カスタマーメニューおよびテクニカルメニュー）

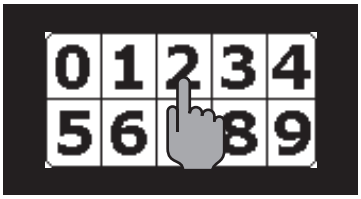
ここでは、豆挽き時間（量）の設定方法について説明しています。

1. テクニカルメニュースイッチを押してください



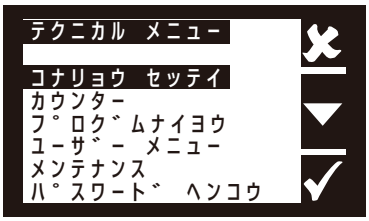
2. パスワード「2222」と入力してください

   カスタマーメニューに入る場合は、パスワード「1111」と入力してください。



3. 「▼」で「ｺﾅﾘｮｳ ｾｯﾃｲ」を選択して、「✓」を押してください

   変更をやめる場合は、「✘」スイッチを押してください。



4. いずれかの豆挽きスイッチを選択してください

   ｺﾅﾘｮｳ 1 → 1杯用豆挽きスイッチ
   ｺﾅﾘｮｳ 2 → 2杯用豆挽きスイッチ
   ｺﾅﾘｮｳ 3 → 連続豆挽きスイッチ

   操作をやめる場合は、「✘」スイッチを押してください。

5. 「+」または「−」スイッチで、値を変えてください

   ﾍﾝｺｳ ｺﾅﾘｮｳ 1 → 設定範囲 01.00 ～ 08.00 秒
   ﾍﾝｺｳ ｺﾅﾘｮｳ 2 → 設定範囲 02.00 ～ 08.00 秒
   ﾍﾝｺｳ ｺﾅﾘｮｳ 3 → 設定範囲 00.00 ～ 20.00 秒

   変更は 0.05 秒刻みです。

   操作をやめる場合は、「✘」スイッチを押してください。

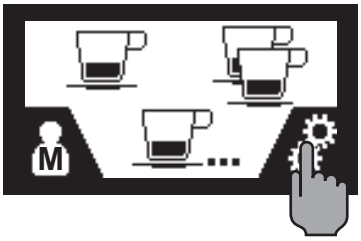
6. 値が決まりましたら、「✓」を押して確定してください

7. 元の操作画面にもどるまで、「✘」を繰り返し押してください

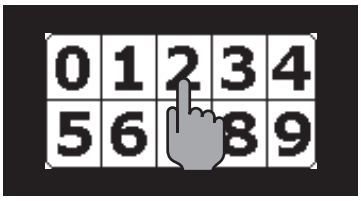
マニュアルモードとプリセットモードの切替え方法(テクニカルメニュー)

ここでは、エスプレッソ抽出容器を本体にセットしてから豆挽きスイッチを押して豆を挽くマニュアルモードと、エスプレッソ抽出容器を本体にセットすると設定された量のコーヒー豆を自動で挽くプリセットモードの切替え方法について説明しています。

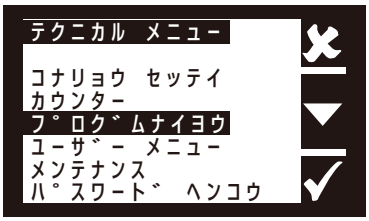
1. テクニカルメニュースイッチを押してください



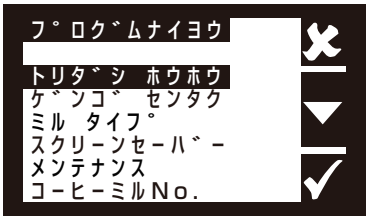
2. パスワード「2222」と入力してください



3. 「▼」で「ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾅｲﾖｳ」を選択して、「✓」を押してください
   変更をやめる場合は、「✘」スイッチを押してください。



4. 「▼」で「ﾄﾘﾀﾞｼ ﾎｳﾎｳ」を選択して、「✓」を押してください
   変更をやめる場合は、「✘」スイッチを押してください。



5. 「ﾏﾆｭｱﾙ」または「ﾌﾟﾘｾｯﾄ 1 ｶｯﾌﾟ」、「ﾌﾟﾘｾｯﾄ 2 ｶｯﾌﾟ」、「ﾌﾟﾘｾｯﾄ 3 ｶｯﾌﾟ」のいずれかを選択してください
   変更をやめる場合は、「✘」スイッチを押してください。

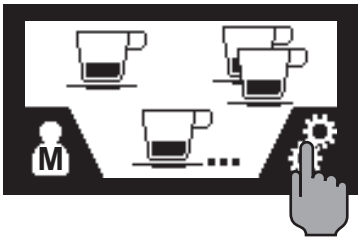
6. 「✓」を押して確定してください

7. 元の操作画面にもどるまで、「✘」を繰り返し押してください

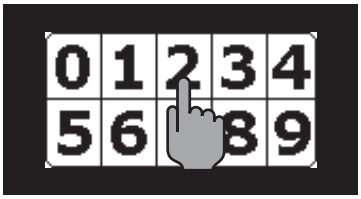
ミルカッターの交換時期確認方法（テクニカルメニュー）

ここでは、ミルカッターの交換をお知らせするメッセージの表示時期までの豆挽き回数変を確認する方法について説明しています。

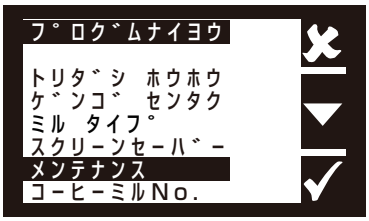
1. テクニカルメニュースイッチを押してください



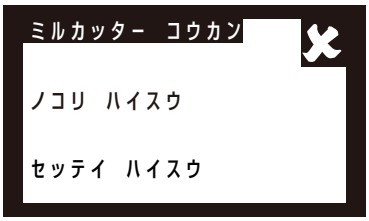
2. パスワード「2222」と入力してください



3. 「▼」で「ﾒﾝﾃﾅﾝｽ」を選択して、「✓」を押してください
   変更をやめる場合は、「✘」スイッチを押してください。



4. 「ﾉｺﾘ ﾊｲｽｳ」を選択してください
   変更をやめる場合は、「✘」スイッチを押してください。



   前回リセットしてからの残り杯数が表示されます。

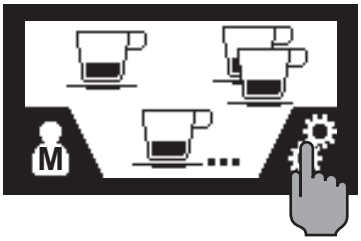
   元の画面にもどるには、「✘」スイッチを押してください。
   値をリセットする場合は、「RESET」スイッチを３秒間長押ししてください。

5. 元の操作画面にもどるまで、「✘」を繰り返し押してください

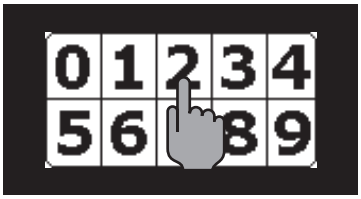
ミルカッターの交換時期変更方法（テクニカルメニュー）

ここでは、ミルカッターの交換をお知らせするメッセージの表示時期（豆挽き回数）を変更する方法について説明しています。

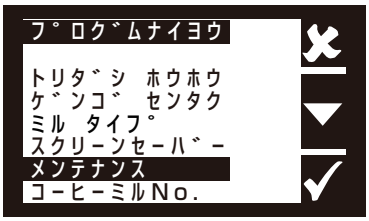
1. テクニカルメニュースイッチを押してください



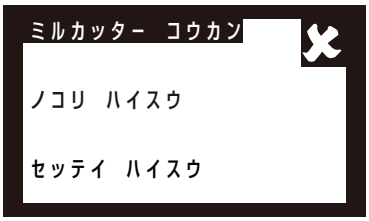
2. パスワード「2222」と入力してください



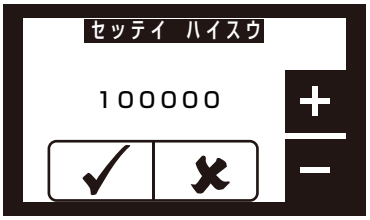
3. 「▼」で「ﾒﾝﾃﾅﾝｽ」を選択して、「✔」を押してください
   変更をやめる場合は、「✘」スイッチを押してください。



4. 「 ｾｯﾃｲ ﾊｲｽｳ 」を選択してください
   変更をやめる場合は、「✘」スイッチを押してください。



5. 「+」または「−」スイッチで、値を変えてください
   5,000 ～ 100,000 の範囲で変更できます。
   工場出荷時の設定は、100,000 回です。
   操作をやめる場合は、「✘」スイッチを押してください。



6. 値が決まりましたら、「✔」を押して確定してください
7. 元の操作画面にもどるまで、「✘」を繰り返し押してください

お手入れについて

いつも安全で清潔にご使用いただくためと、機械を長持ちさせるために、作業終了後は各部をお手入れしてください。

⚠警告

本体に直接水をかけないこと
ショート、感電、錆、故障の原因になります。

⚠注意

お手入れのときは、電源スイッチを切って、電源プラグを抜くこと
ショートや感電の恐れがあります。

1．本体の抽出容器受けなどに付着しているコーヒー粉は、柔らかい刷毛やブラシで払い落とし、柔らかい布で拭いてください

2．受け皿に溜まった粉は捨てて、柔らかい布できれいに拭いてください

3．本体周辺に飛び散った粉は、掃除機で吸い取ってください

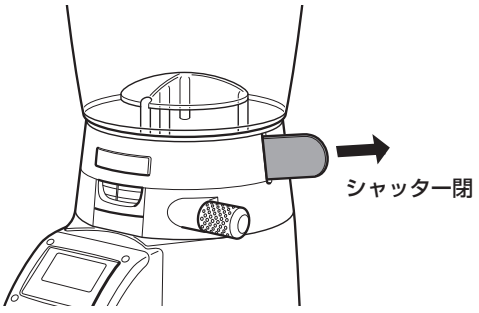
4．ホッパー内および本体外装部に付着したコーヒー豆の油汚れは、食器用中性洗剤を含ませた布かスポンジを硬く絞って拭き、きれいな水で濡らした布を硬く絞って十分に洗剤成分を拭き取ってください

その後完全に乾燥させてください。

お願い

清掃をするとき、クレンザー、酸類、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使わないでください。
キズがついたり、破損の原因になります。

ホッパーを取り外す場合は、シャッターを閉めてから取り外してください。
シャッターが開いたままですと、ホッパーを取り外した際に、ホッパーの下からコーヒー豆がこぼれます。



故障の診断と手当

故障かなと思われ修理を依頼する前に、次の項目を確認してください。
症状が改善されないときや「手当」の欄に「お買上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、本機の電源スイッチを切って機械を止め、本機専用電源も『OFF（切）』にして、早急にお買上げ店へ連絡してください。
ご連絡の場合は、本機の型式名･機番･お買上げ日･故障状況（できるだけ詳しく）をお知らせください。

状　態	原　因	手　当
電源スイッチが入らない	ホッパーが正しくセットされていますか？	本ホッパー下部についている安全装置が正しく収まっているか確認してください。
	本機専用電源が『OFF（切）』になっていませんか？	『OFF（切）』になっているときは、『ON（入）』にしてください。
	停電ではありませんか？	通電するのを待ってください。
	漏電遮断器が切れていませんか？	『OFF（切）』になっている場合は、お買上げ店へ連絡してください。
	モーターの保護装置が動作している可能性があります。	本機専用電源『OFF（切）』にして、時間を置いてから再度電源を入れてください。
	機械の故障の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
電源スイッチを入れてもコーヒー豆を挽かない	ホッパーのシャッターを閉じていませんか？	シャッターを開けてください。
	粉取出し口内にコーヒー粉が詰まっていませんか？	詰まっている粉を取り出してください。
	モーターの保護装置が作動している可能性があります。	電源スイッチを切り、時間を置いてから再度電源を入れてください。
	ミルカッターが、目詰まりしている可能性があります。	メッシュ調節つまみを回し、メッシュを粗くしてからモーターを回転させてください。症状が改善されないときは、お買上げ店へ連絡してください。
	機械の故障の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。

状　態	確　認	手　当
本体から異常音が発生する	丈夫な所に設置していますか？	不安定な場合には、お買上げ店へ連絡してください。
	据え付けが悪く、がたついていませんか？	水平で平らな場所に据え付けてください。
	本機に何か触れた状態になっていませんか？	接触しているものを取り除いてください。
	カッター部に異物が噛み込まれていませんか？	電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、カッター部の異物を取り除いてください。
	ホッパー蓋、受け皿が正しくセットされていますか？	ホッパー蓋、受け皿を正しくセットしてください。
	機械の故障の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
メッシュが粗すぎる	ミルカッターが、目詰まりしている可能性があります。	17 ページの「メッシュ調節について」を参照して、メッシュの調整をおこなってください。 症状が改善されない場合は、お買上げ店へ連絡してください。
	ミルカッターが摩耗している可能性があります。	
メッシュにバラツキがある	ホッパー内のコーヒー豆の量が少なすぎる可能性があります。	10 ページを参照して、豆の量を調整してください。 症状が改善されない場合は、お買上げ店へ連絡してください。
漏電遮断器が切れる	漏電遮断器のレバーの位置が「OFF(切)」になっていませんか？	漏電遮断器が「OFF(切)」に作動した場合には、お買上げ店へ連絡してください。レバーが「OFF(切)」になっていると漏電している可能性があります。無理にレバーを「ON（入）」にすると、感電や火災の原因になります。
電源コードが異常に熱くなる	電源コードを束ねていませんか？	電源コードを束ねている場合は、解いてください。
	電源コードをものなどで挟み込んでいませんか？	電源コードを挟み込んでいるものを取り除いてください。

据付けについて

⚠警告

湿気の多いところや、水などがかかり易い場所に据え付けないこと
絶縁低下から漏電、感電の原因になります。

本機の電源は、専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントを使用すること
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

アースを必ず取ること
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。

⚠注意

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること
据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になります。

作業に支障がないように、十分なスペースを確保してください

操作スイッチが正面にくるように据え付けてください

本機の電源コードを電源設備に接続する際、電源コードが長すぎる場合は、束ねたりせず、少し余裕を持たせて適切な長さにカットして接続してください
電源コードの長さ：1.6m

アース線（黄 / 緑色の線）をアース端子に接続してください

仕様

品　　名	マグナム オンデマンドミル【ラ・チンバリー】
型　　式	MOD-2
外 形 寸 法	幅 215・奥行 405・高さ 625mm
電　　源	単相 200V　50/60Hz
電　　流	2.5A（15 秒 ON / 60 秒 OFF）
消 費 電 力	450W
安 全 装 置	モーター保護装置付、ホッパー安全装置付
ホッパー容量	1.5 kg（コーヒー豆量）
豆挽き時間設定	1 杯用：1.00 ～　8.00 秒 2 杯用：2.00 ～　8.00 秒 連続用：0.00 ～ 20.00 秒
電 源 コ ー ド	長さ：1.6m　3 心
質　　量	15 kg

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

主 要 部 品	ホッパー（ホッパー蓋付）……1 個 受け皿　……1 個
付　属　品	定圧タンパー　……1 個

エフ・エム・アイ商品保証書

株式会社エフ・エム・アイ

東　京		〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号	Tel. 03(5561)6521
大　阪		〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号	Tel. 06(6969)9393
営業所	札　幌	〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号	Tel. 011(813)8651
	仙　台	〒983-0034 仙台市宮城野区扇町2丁目1番9号	Tel. 022(238)5711
	名古屋	〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地	Tel. 052(361)7891
	広　島	〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号	Tel. 082(876)1855
	福　岡	〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号	Tel. 092(481)2931
出張所	北　陸	〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号	Tel. 076(243)7810
	沖　縄	〒903-0812 那覇市首里当蔵町2丁目13番302	Tel. 098(963)9324
サービスステーション	盛　岡	〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号	Tel. 019(648)5390
	四　国	〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1	Tel. 0875(57)5161
	鹿児島	〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号	Tel. 099(263)8281
東京修理工場		〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号	Tel. 03(5819)1280

ホームページ　http://www.fmi.co.jp/

PA

Copyright (C) 2013 FMI Corporation.All Rights Reserved.